



～2025-26年度主題～

国際会長 エドワード・オン (SG) “Faith, Love, Action”
 アジア太平洋地域会長 田上 正 (熊本むさしC) “信念と愛をもって行動しよう！”
 東日本区理事 山下 真 (十勝C) “ワイズらしさ再発見”
 かながわ部長 兵藤 芳朗 (鎌倉C) “共に歩み 交流を深め、部の「絆」を強めよう”
 クラブ会長 坂口 直樹 “お互いを理解し誰かの役に立つ！”

今月の聖句

「だから、人にしてもらいたいことは何でも、あなたがたにも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。」

(マタイによる福音書7-12)

8月の本例会

日時 8月22日 (金) 17:00～
 場所 夢Café (みんなの家)

=プログラム=

1. クラブ例会 17:00～18:00
 司会:森山 受付 今城H
 議事
 - ① 開会点鐘・聖句と祈祷
 - ② 各種報告・連絡事項
 - ③ 今後の行事予定
 - ④ YMCA報告
2. YOU&Iコンサート
 キックオフミーティング 18:00～
 (出席者)
 坂口、大野、今城T
 運営委員各位
3. つづきクラブ納涼懇親会
 19:00～21:00
 - ① 会食
 - ② 懇談
 - ③ Happy Birthday
 辻 剛さん (8/30)

クラブ役員一覧

会長 坂口 直樹
 副会長 今城 高之
 書記 今城 宏子
 会計 鈴木 茂
 直前会長 鈴木 茂
 監事 辻 剛

巻頭メッセージ

「みつかる・つながる・よくなっていく」

直前会長・会計 鈴木 茂

このロゴ・スローガンは、日本YMCA同盟が2014-2016年度に進めたブランド再生計画において、「日本YMCA基本原則」の精神をメッセージ化して採用したYMCAの新ブランド・ロゴである。日本のYMCAがその存立と活動の基本方針として、すべての人々をかけがえのない人とし、人と人とのつながりを尊重し、理解しあうことを通して、社会や世界が変わり、よくなっていくことを目指したYMCAの決意を示すスローガンである。

そこで、YMCAと共に歩み、協力することを使命とするワイズメンズクラブも、このスローガンの趣旨をよく理解し、私たちの日々の活動の指針としなければならないのではないか。実際、私は現在のワイズこそ、このスローガンの実践が切に求められているように思われる。先の見えない混沌とした現代社会は、私たちが何を目標とし、何に希望を見出すが難しい。社会や国家間の分断が進み、人と人とのつながりを維持することが難しくなっている。こうした現代社会にあって、私たちがYMCA活動や地域奉仕活動を通して、生きがいや社会の連帯を回復し、よりよい社会を築くことは、ワイズの重要な使命である。その意味で、この「みつかる つながる よくなっていく」というスローガンは、現代のワイズにとっても、意義深い活動指針である。

いま、日本のワイズメンズクラブでは、会員減少が深刻な問題となっている。この要因は何か。会員の高齢化か。知名度が低いからか。活動に魅力がないためか。会費が高いからか。会員増強への努力が不足しているからか。おそらく、様々な要因が重なっていると思われる。

しかし、ワイズが今後、会員増強のためにいかなる対策、手段を選択する場合でも、誰にでも理解できるワイズの目的、使命を常に掲げ、ワイズの存在を世の中に明らかにして行くことが大切である。その際に求められるのが、上記に見たようなスローガンの存在である。YMCAが開発したスローガンを、ワイズがそのまま借用することはできないであろう。YMCAの「みつかる、つながる、よくなっていく」というスローガンの趣旨に沿った新ロゴを開発し、ワイズの存在とその使命を地域社会に明らかにすることが必要である。たとえば、「You & I!・共生と協力！」といったスローガンはいかがであろうか。

そのようなスローガンに沿って、クラブ内メンバー間のつながりはもちろん、クラブと地域社会のさまざまな個人、団体とのつながりを大切にして、ワイズメンズクラブが地域社会の福祉、環境、平和に貢献することを目指したい。 (完)



例会出席	14名	在籍会員数	16名
メンバー	11名	月間出席者数	11名
ビジター	3名	メ・キャップ	1名
ゲスト	—	月間出席率	75%

(7月のデータ)

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

例 会 報 告

2025-2026年度7月本例会・クラブ総会報告

鈴木 茂 記

日時：2025年7月25日（金）17:30-19:15

会場：かけはし都筑

司会：今城高之

出席者：今城H・T、エスキルドセン、大野、坂口、鮫嶋、

鈴木K・S、辻Ta・Tsu、三木、森山

ゲスト・ビジター：兵藤芳朗かながわ部・部長、

板崎淑子部書記、古田和彦部会計

【 概 要 】

1. 坂口直樹会長による開会点鐘、ワイズソング・ワイズの信条の唱和、森山担当主事による今月の聖句と祈禱、坂口会長による挨拶、司会者によるゲスト・ビジター紹介を経て、クラブ総会が行われた。

2. クラブ総会 議長：坂口直樹会長
出席者確認、定数確認、総会成立確認を経て、以下の通り議事が進められた。

第1号議案：2024-2025年度事業報告・・・

鈴木S前会長から、別紙に基づき報告された。

第2号議案：2024-2025年度決算報告・・・

鈴木K前会計から、別紙に基づき報告された。

第3号議案：2025-2026年度活動方針・・・

坂口会長から、別紙に基づき説明があった。

会長主題：お互いを理解し誰かの役に立つ！

会長スローガン：幸せの輪を回そう！

第4号議案：2025-2026年度行事予定・・・

坂口会長から、別紙に基づき説明があった。

第5号議案：2025-2026年度運営体制・・・

坂口会長から、別紙に基づき説明があった。

第6号議案：2025-2026年度役割担当・・・

坂口会長から、別紙に基づき説明があった。

第7号議案：2025-2026年度予算・・・

鈴木S会計から、別紙に基づき説明があった。

第8号議案：「横浜つづきクラブ・グループLINE利用ガイドライン」制定・・・坂口会長から、別紙に基づき説明があった。

以上8件の議案は、いずれも総会出席者全員の賛成により、承認・議決された。

3. 2025-2026年度クラブ役員就任式

新年度のクラブ会長・副会長・書記・会計の就任式が、兵藤部長・板崎書記・古田会計の部三役の立ち合いのもと、辻 剛監事の司式により行われた。鈴木直前会長から、坂口新会長へ「会長バッジ」が引き渡された。

4. かながわ部長公式訪問ご挨拶

兵藤部長から別紙に基づき、「共に歩み、交流を深め、部の絆を強めよう！」との「部長主題」のもと、部共通のテーマである「地域・Yサービス事業」、「会員増強」、「国際・交流」、「ユース事業」を展開するとともに、クラブの垣根を超えた活動をより推進し、各クラブが共に歩みながら、部の絆を強めて行きたい、とのご挨拶があった。続いて、板崎書記、古田会計からのご挨拶があった。

5. 今後のクラブ・YMCA・区・部等の予定

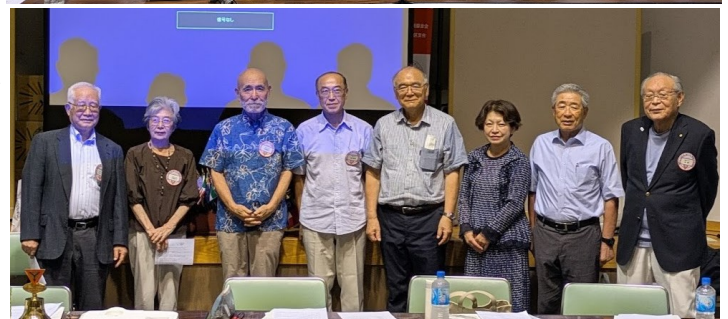
坂口会長から今後の予定として、8月1-3日の横浜YMCAのAIDS文化フォーラム、8月22日（金）のクラブ本例会（兼You & I コンサート・キックオフ、納涼会）、8月21（木）の「かながわ部合同納涼会」等の報告があった。

6. Happy Birthday

岡田美和さん（7/11）、坂口直樹さん（7/17）、三木直子さん（7/22）、今城高之さん（7/31）

7. 閉会点鐘・・・坂口会長

閉会后、「ヴァンサン」において会食懇親会。ビジター3名を含む11名が参加。



（写真中段）辻監事の司式、部三役立ち合いの下行われたクラブ新役員就任式

（写真下段）鈴木茂直前会長より坂口直樹新会長へ会長バッジが引き継がれました。



"To acknowledge the duty that accompanies every right"

会 議 報 告

2025-26年度 かながわ部 第1回評議会報告 坂口直樹 記

日時 2025年7月19日(土) 15:00~17:00
 会場 横浜中央YMCA 6階606号室
 出席者 会場 11名、Zoom参加 3名、
 委任状12名 合計26名
 当クラブ出席者 坂口(会長)、今城(副会長・部国際・
 交流事業主査)、鈴木(会計・部監事)

なった

・新入会員入会金補助額を従来の6千円
 から3千円に圧縮する

・各イベントは収支バランスとること前提に予
 備費は0円で予算化した

以上の議案は一部修正の上承認可決。

1. 会議は板崎部書記の司会のもとで進められ、兵藤部長
 の開会点鐘、出席者によるワイズソング斉唱、ワイズの
 信条の唱和、森山部担当主事による聖書朗読・開会
 祈祷に続き、兵藤部長による挨拶(大和クラブの新会
 員入会の件、YBLFへの協力、かながわ部納涼会や富
 士山例会の部としての支援等)があった。
 次に、出席者点呼並びに評議会成立要件確認の
 後、兵藤部長が議長となり議事に入った。

2. 議事 議長 兵藤 芳朗 部長

第1号議案 2024-25年度事業報告

久保 勝昭 直前部長

昨年度の活動報告がイベントごとの写真付
 きで報告があり承認された。

兵藤部長から部の課題引継ぎも行ったこと、
 久保直前部長への感謝の辞があった。

第2号議案 2024-25年度決算報告・会計監
 査報告 久保 勝昭 直前部長

辻前部監事の監査報告と共に決算報告があっ
 た。資料タイトルを「決算案」から「決算報告
 書」に変更修正する。予備費の実績はおかしい
 ので0とし、雑費として計上する。以上の修正を
 条件として承認された。

第3号議案 2025-26年度部大会について

兵藤 芳朗 部長

11月22日(土)15:00-17:00@ 湘南とつか
 YMCA 1階ホールで開催予定の部大会の企
 画について、今回から参加費1,000円の徴収
 をすることで承認された。また同日大会前に予
 定されていた、次々期部長選考委員会は参加
 者の都合悪く改めて日程を決めることとなった。

第4号議案 2025-26年度予算案について

古田和彦 部会計

・本年度から東日本区からの補助金がなく

3. 報告・連絡

1) 部長報告 兵藤 芳朗 部長

7/12に行われた東日本区役員会の報告があった。
 東日本区定款の地理的範囲から沖縄県を削除
 する件、YVLFへの各クラブ負担金は頭書メンバー
 あたり1,600であったが1,500円/メンバーに変更さ
 れ各クラブから東日本区に送金すること等。

2) 事業主査報告(地域奉仕・Yサ、会員増
 強、国際・交流、ユース)

・会員増強(小松) 7/1大和クラブに1名入会。

・国際・交流事業(今城) 今年度目標として
 IBC/IDCを検討したい。

・ユース(古賀) 9月初旬に予定されるYVLF@富
 士山YMCAに積極的に参加いただきたい。バスは
 ユース用なので交通の便は各自で、また参加申し
 込み期限は8/10。

3) 各クラブ会長報告(横浜、鎌倉、厚木、金沢
 八景、横浜つづき、横浜つるみ、大和)

・かながわ部納涼例会(8/21開催)の参加申し込
 みは8/10とする(古田)

・つづきクラブ(坂口) 本年度の主なイベント紹介を
 行った。(①You & I コンサート(11/1)、②
 20周年記念例会計画)

4) YMCA報告 森山 真治 部担当主事

4. 監事講評 鈴木 茂 監事

本日の評議会は新生かながわ部として部則に従っ
 て整然と行われた。一方活発な議論もあり大変良
 かった。次期部長方針や事業計画の承認の運用
 など弾力的に運営すべきとの講評があった。

兵藤部長の閉会点鐘で評議会は終了し、その後懇
 親会を行った。

"To acknowledge the duty that accompanies every right"

投稿

僕が最近学んだ2つの言葉

今城 高之

今頃何を寝ぼけたことを！、と言われるのを覚悟のうでに投稿します。

極最近学んだ二つの言葉についてです。一つ目は「ソーバキュリアス」(sober curious)、もう一つは「正常性バイアス」(normalcy bias)です。この二つの言葉は、先日の朝、何時ものように、起きてはいるが何とはなくベッドでラジオを聴いていた時耳にしたもので、私には耳新しく、早速スマホでその意味を調べてみました。

まず、「ソーバ キュリアス」。『お酒を飲まない生活に興味を持つこと』を意味するライフスタイルや考え方のこととありました。具体的には、アルコール依存症ではないが「飲まなくてもいいかな」と思い始め、健康、メンタルを意識してお酒を控え、飲み会、付き合いといった社会的な習慣から距離を取ることで、「絶対禁酒！」ではなく、あくまでも好奇心からお酒をやめること、とありました。この言葉は、英国の作家ルビー・ワリントンが著書“*Sober Curious*” (2018年)に書いたもので、ミレニウム世代やZ世代を中心に「ヘルシーで自己決定的なライフスタイルを求める」人達の共感を呼んだものです。現在の「ノンアル」ブームもここから生まれてきたもののようです。また、そのような考えを持つ人たちが「ソバ

キュリアン」と呼ばれるということも知りました。現在、健康上の理由で飲酒を控えている（控えざるを得ない？）私にとって、とても意味深い言葉に映りました。

もう一つの「正常性バイアス」とは、非常事態が起きても「これは普通のことだ」と思い込み、危険を過小評価することとあります。「まさか自分がそんな目に遭うはずがない」「今まで大丈夫だったから、今回も大丈夫だろう」とってしまうことで、適切な避難や対処が遅れる原因になります。まさに、この春先にクリニックを訪ね、胸に違和感を感じると訴えた時の私の心境です。一体なぜこのようなことになるのでしょうか。説明によると、人間の脳は「いつも通り」を保つことで安心しようとする性質があり、現実を自分に都合よく解釈して、危機を無視しようとする傾向があるようです。「正常性バイアス」は防災や事故回避の場面で非常に重要な概念であるともありました。健康や災害とまではいかなくとも、足元の不安定な我々には、危機を過大評価する方がいいのかも知れません。期せずして朝の寝ぼけ眼で耳にした二つの言葉が、現在自分が今置かれている状況に大変関わりのあることに気づき、自戒の念を込めて言葉をかみしめ、忘れないよう投稿することにした次第です。(了)

ご案内 # 1 9月例会の卓話について

本誌7月号で予告した通り、9月の当クラブ例会（9月26日）では、新たに田園都筑教会の牧師に就任された木村光寿先生の卓話を予定しています。

この度、先生から卓話の演題についてご連絡を頂きました。『これまでの道のりを振り返って』です。

先生の略歴を拝見しますと、これまで様々な道をお歩きになったことが推測できます。どういう道をどのように歩んでこられたか、興味がつきます。ゲスト・ビジターも大歓迎です。当クラブの例会に奮ってご出席ください。

ご案内 # 2

今年の当クラブ恒例 “You & I コンサート” ご案内のチラシができました。（右）大勢の皆様がご来場くださるのを、つづきクラブメンバー一同心待ちにしております。なお、チラシの詳細は、クラブのfacebookページ（以下）でご覧ください。

[\(20+\) Facebook](#)

(Ctrl+クリック)

You & I コンサート

あなたとわたし、障がい児・者と共に



2025年 **11月1日(土)**

開場 13:00/開演 14:00

演奏 横浜室内合奏団・歌劇団

曲目 愛の喜び / クライスラー
トルコ行進曲 / モーツァルト
いつも何度でも / 木村弓
リトルマーメイドよりアンダー・ザ・シー / アランメンケン
情熱大陸 / 葉加瀬太郎
チャルダッシュ / モンディ
歌劇「はだかの王様」 小岩悦也作曲 佐藤大祐台本

《チケット情報》
一般 1000円
障がい者 500円(付添い者1名無料)
中高生 500円(小学生以下無料)
予約申込先 横浜北YMCA You & I コンサート係
Tel: 045-433-4321

★当日券も用意しておりますが、出来るだけ、ご予約頂きますようお願いいたします。ネット予約も可能です。ポスター裏面をご参照ください。

このコンサートは、都筑区社会福祉協議会の「ふれあい助成金」ならびに横浜YMCAの「チャリティラン支援金」の助成を頂き運営しています。

《会場》ボッシュホール
(都筑区民文化センター)
横浜市営地下鉄センター北駅徒歩5分

主催 You & I コンサート運営委員会

- アーモンドコミュニティネットワーク
- アスタPC
- みんなの家
- 荏田福祉ホーム (以上NPO法人)
- 横浜YMCA
- 横浜つづきワイズメン & ウィメンズクラブ

後援

- 横浜市教育委員会
- 横浜市長官公署
- 都筑区社会福祉協議会

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

会 議 報 告

第31回アジア太平洋地域大会

鈴木 茂 記

日程：2025年8月1日（金）～3日（日）

会場：熊本城ホール・ホテル日航熊本(本会議・晩餐会)

ホスト：ワイズメンズクラブ西日本区、協力・同東日本区

大会テーマ：For Greater Joy!

参加者：東日本区90名、西日本区319名、その他アジア太平洋地域107名、インド・ヨーロッパ・アメリカ等28名、AYC参加ユース39名、合計583名

2年ごと、西暦の奇数年度に開催されるワイズのアジア太平洋地域大会は、今年は田上 正アジア太平洋地域会長のお膝元・熊本で開催され、600名近い参加者があり盛会であった。

8月1日、13:00より開会式が行われ、バナーセレモニーの後、田上AP（アジア太平洋地域会長）の開会挨拶、デヴィッド・ルアPAP（元アジア太平洋地域会長）の歓迎の辞、大西一史・熊本市長、ナム・ブー・オン アジア・太平洋YMCA 同盟総主事から祝辞が述べられた。

続いて、今年度IP・エドワード・オング氏の国際会長就任式が、藤井寛敏・元国際会長（PIP）の司式のもとで、またAP 田上 正氏のアジア太平洋地域会長就任式が、エドワード・オング国際会長の司式のもとで執り行われた。



(国際会長、アジア太平洋地域会長の就任式)

休憩の後、京都パレスクラブのメンバーであり、かつ「在京都ラオス人民共和国名誉領事」の肩書を持つ大西嘉宏氏より、「ラオスにYMCAを設立する取り組み」に関する基調講演が行われた。次いで、「熊本ジェーンズクラブ」と「台北ユニオンクラブ」とのIBC締結式が執り行なわれ、さらに直前アジア太平洋地域会長（IPAP）ジョウン・ウオンによる「アジア太平洋地域報告」、ショートビデオコンテスト作品の披露が行われた。このコンテストで、東日本区甲府21クラブがコミュニティー部門で優勝し、表彰式が行われた。以上で、初日の熊本城ホールにおける式典は終了した。

場所を変え、「ホテル日航熊本」において19:00から、直前アジア太平洋地域会長(IPAP)主催の晩餐会（IPAP NIGHT）が、IPAPジョウン・



ウオンの歓迎の辞、田口 努 日本YMCA同盟総主事による挨拶をもって始められた。晩餐会恒例の“Cultural Exchange”では、地域各区の出し物が披露された。参加国各区から、とりどりの民族衣裳を身に着けた参加者たちが壇上に上り、パフォーマンスを披露した。東日本区からは、参加者全員が浴衣、和服など思い思いの服装を身に着け、皆で「花は咲く」の歌を斉唱した。

大会2日目は、エクスカーション。① 阿蘇巡りツアー、② 八千代座酒蔵ツアー、③ 通潤橋ツアー、④ 熊本城ぶらり歩き



(晩餐会に招待されたAYCのメンバー)

ツアー、⑤ ワイズ・ミュージック・フェスティバル、の5コースに分かれて、バス等による小旅行を楽しんだ。筆者は①の阿蘇巡りツアーに参加し、大観峰展望台での阿蘇五岳の眺望など、阿蘇の大自然を堪能した。

エクスカーションから戻り、2日目の晩餐会はAP Nightである。山下 真・東日本区理事の開会祈祷、田上アジア太平洋地域会長（AP）の歓迎の辞、ロナルド・ヤム世界YMCA 同盟副会長の祝辞、中井信一・西日本区理事の歓迎の挨拶に続いて、ラチャン・マニカーン 次期アジア太平洋地域会長による乾杯で、晩餐会がスタートした。

AP Night には、アジア太平洋ユースコンボケーション（AYC）に参加したユースたちが招待され、彼らのギター伴奏による「カントリーロード」が披露された。

また、一昨年のアジア太平洋地域大会を機に開催された「ソングフェスト」に倣って、「Y.M.C.A」by Village Peopleを

参加者全員で歌い、踊り、会場全体が大いに盛り上がった。晩餐会のフィナーレは熊本のワイズ、ワイズメネットにより「おもてやん踊り」が披露され、これも会場全体が踊りの

(次頁へ)

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

輪に加わって、和やかな雰囲気を出した。

大会3日目のプログラムは、am9:00から石巻教会牧師である川上直哉ワイズの司式、説教による日曜礼拝によって始まった。川上牧師は説教の中で、① 東日本大震災の津波により完全に破壊された石巻の水産加工会社が、世界各国からの支援で再建が進んでいること、②再建された水産加工会社では最近、インドネシアを中心に東南アジアから来た多くの若者が働いていること、③ その若者たちの多くはイスラム教徒であり、石巻にモスクを作りたいとの要請が強まり、地域の人々との相談を経て、このほどやっとモスクが建設されたこと、④ 国籍や宗教が違って同じ現場に生きる人は、互いに努力して力を合わせる仲間となり、家族となり、エペソ人への手紙2:9が

語る聖書の世界が実現する、とのお話があった。

次に、ジョース・ヴァルギース国際書記長から、昨年度の国際ワイズメンズクラブの活動内容とワイズの現情勢についての報告が行われた。続いて、AYCに参加したユースたちの報告とユースへの「終了証」授与式が行われた。

最後に、ビデオによる3日間の振り返り、閉会宣言、蛍の光の斉唱をもって3日間の大会が終了した。3日間の大会プログラム及び司会、進行はすべて英語が用いられた。この点は、国際大会やアジア太平洋地域大会が、部大会や区大会と趣を異にする点であり、同時通訳を用意するなど、国際的会議を企画、推進するチームのご苦労が窺われた3日間であった。

以上

北YMCA便り

横浜北YMCA 健康教育部 主任 宮澤 仁



横浜YMCAでは、夏休みの期間で多くの子どもたちや家族でお出かけになる海や川など、水辺での安全についての取り組みを6月から実施しました。毎年YMCAウォーターセーフティキャンペーンという形で行われる取り組みは、神奈川県下のYMCA全体で「着衣泳体験会」や「水泳体験会」などを無料で実施しています。また、YMCAの近隣の小学校からの依頼を受けて、小学校の夏休みに入る前の7月中の水泳授業で着衣泳体験を小学校の児童向けに実施をしました。

着衣泳については、毎年多くの水難事故者がおり、子どもが溺れるケースも多くなっていることから大切な取り組みの一つとなります。近年では溺れた子どもを助けようとした保護者が亡くなってしまうケースもあり、大人も溺れないようにするための着衣泳体験が必要と考え、キャンペーンでは家族、または大人でもご参加いただける着衣泳体験会を実施しました。

通年で行っているスイミングクラスの目的の一つにかけがいの命を育むということがあります。実施しているウォーター

セーフティキャンペーンの取り組みの中においても、実施プログラムを通して命の大切さを併せて考えていただけるようにしています。今後も水辺での事故が少しでも減るように、キャンペーンを通してYMCAは活動を広げていきたいと思っています。



お知らせ

YMIワールド（ワイズ国際協会機関誌）2025-26第2号（日本語版）が完成いたしました。東西日本区合同翻訳・通訳グループの手来によるものです。私たちが連なる国際協会の活動の一端を知って頂くに役立つと思います。以下のリンクからお読みください。

<https://ys-east.or.jp/news/>

▼人の命に脅威となる酷暑が続いたと思えば、一転して、同じく命を脅かす豪雨に見舞われています。被害の多い地域の方々は心よりお見舞い申し上げます。▼我がクラブでは、8月の事務例会（第2火曜日）は休会とし、第4金曜の本例会は、納涼会とすることが好例になっていきます。また、秋のYou&Iコンサートのキックオフミーティングも併せて行い、メンバー以外の運営委員会の方たちも納涼会にお誘いし、交流の時間としていきます。依然是手作りの食べ物を持ちよる「ポットラックパーティー」でしたが、昨今はなかなかそうもいかず、ケータリングで済ませています。楽しい、真夏の夜のひと時が期待されます。▼本誌にも記載した通り、11月1日開催予定のコンサートのチラシが完成しました。の来場を期待したいと思っています。（編集子）

“To acknowledge the duty that accompanies every right”